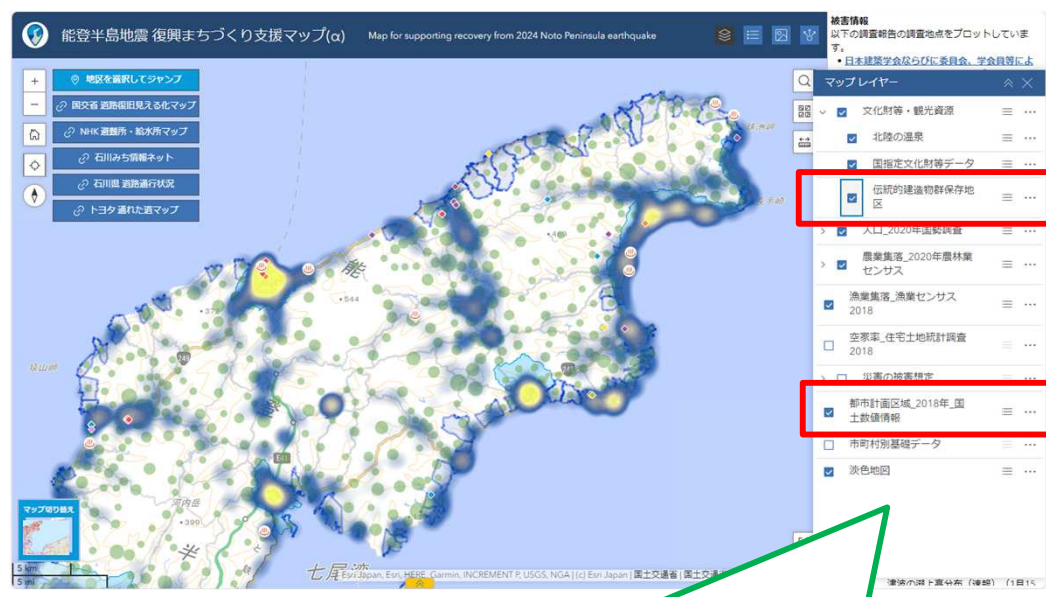


参考資料2

- 都市計画学会では、都市計画関係者の現地調査支援や、被災地の復興まちづくり支援を目的に「能登半島地震 復興まちづくり支援マップ」を開発・運用している。
- 国土数値情報で提供している基礎情報をベースに、被害状況や道路復旧状況・復旧・復興状況をレイヤーとして重ねて閲覧できる。また、研究者や学会等における調査報告結果等がプロットされており、マクロ・ミクロ両面で被災地の状況が確認できる。
- 被災状況把握・復興検討において、地域の過去の履歴を参照できることは有用であり、その意味で国土数値情報でデータが蓄積されていることは有用であるとの声があった。

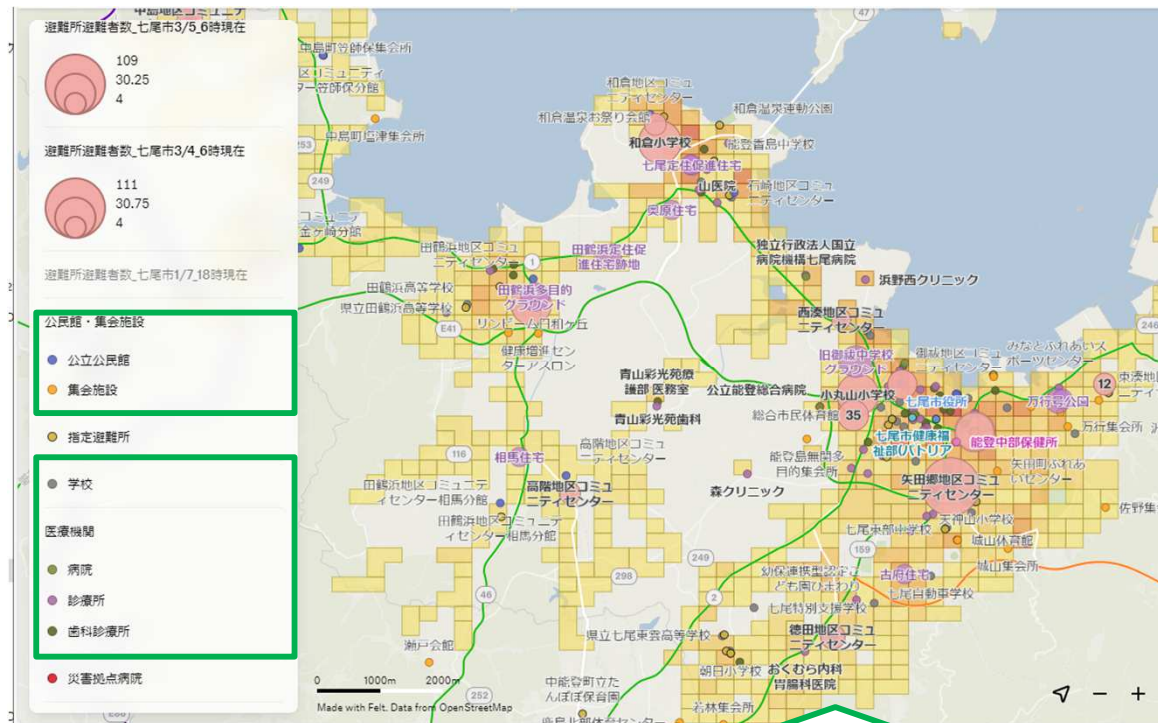


復興まちづくりの検討にあたって、国土数値情報の都市計画区域や、伝統的建築物群保存地区のデータも活用可能

出所：
 都市計画学会, <https://www.cpij.or.jp/com/rev/2024noto.html>, 2024年2月28日閲覧
 能登半島地震復興まちづくり支援マップ,
<https://experience.arcgis.com/experience/51386339746f41ce8282620efdb38450/>,
 2024年2月28日閲覧
 災害復興GISデータアーカイブ「令和6年能登半島地震に関するGISデータ」,
https://masumura.ues.tmu.ac.jp/dr_gis/2024_noto_peninsula_earthquake/, 2024年
 2月28日閲覧

掲載されている情報	概要
被害情報	自治体公開情報、学会による調査結果、報道より
復旧・復興情報(1.5次避難所等)、建設型応急仮設住宅	県公開情報等
一時孤立集落	県発表とNHK記事に基づく
道路復旧見える化マップ	国土交通省「道路復旧見える化マップ」
火災消失範囲、漁港の隆起 斜面崩壊・堆積分布	国土地理院による画像判読の推定結果
津波浸水域	国土地理院、日本地理学会による推定結果
海岸地形変化	日本地理学会による画像判読の推定結果
津波浸水想定(2020年)、土砂災害警戒区域(2022年)	国土交通省「ハザードマップポータルサイト」
市町村役場等及び公的集会施設、行政区域	国土数値情報
文化財等	温泉、文化財、重要伝統的建造物群保存地区 (国土数値情報)
農業集落	農林業センサス
漁業集落	漁業センサス
空き家率	住宅土地統計調査より、市町村ごとに表示
都市計画区域	国土数値情報

- 大阪医科薬科大・堀池研究グループでは、土地勘がなく派遣される保健師チームの状況把握を支援するためのツールとして、能登半島地震に関連するデータをWebGIS上で公開している。
- 国土数値情報の行政区域データ・緊急輸送道路・医療機関一覧等に加え、被災状況のデータ（通行止め状況）や避難所の開設状況や避難者数、仮設住宅の状況等を可視化している。
- 特に被災地の現状を把握する上では、平時との比較が重要となるため平時データである国土数値情報が役立つ、との声があった。

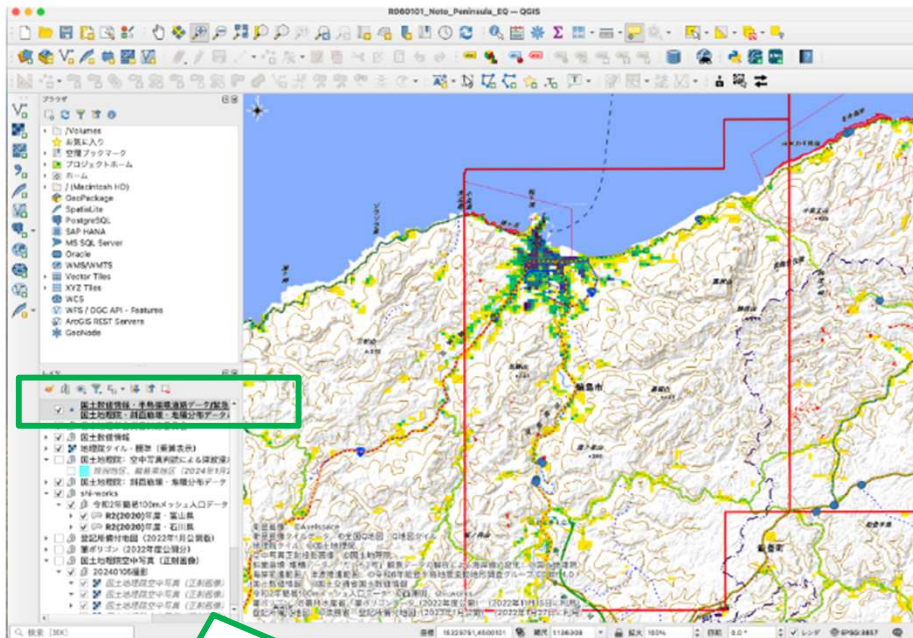


被災地の状況把握にあたって、国土数値情報の医療機関、学校、市町村役場等及び公的集会施設データ等も活用可能

出所：
 G-CHAM, <https://g-cham.carrd.co/#news10>, 2024年2月28日閲覧
 Felt, <https://felt.com/map/NotoEQ-TNe7D8i3TiivZaDSqtwOaA?loc=37.04803,136.96376,12.91z&share=1>, 2024年2月28日閲覧

掲載されている情報	概要
応急仮設住宅、定住促進住宅緊急入居、市営住宅緊急入居	自治体公開情報より
開設避難所・避難者数	自治体公開情報等
行政基礎情報(行政区域データ、半島循環道路、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域、学校、医療機関、緊急輸送道路、国・都道府県の機関、市町村役場等及び公的集会施設)	国土数値情報
人口・世帯状況	国勢調査5次メッシュを活用
災害拠点病院、病院一覧、公共施設一覧、指定避難所	石川県オープンデータカタログ
斜面崩壊・堆積分布	国土地理院による画像判読の推定結果
道路復旧見える化マップ	国土交通省「道路復旧見える化マップ」
CS立体図（標高や傾斜が理解しやすい図）	石川県が2020年7月～2023年2月に取得したLiDARデータ

- 一般社団法人OSGeo日本支部代表 岩崎亘典氏により提供。
- 国土数値情報等から得られる地域の基礎データや、能登半島地震に関連して新たに公開されたデータが、一つのQGISプロジェクトファイルとしてまとめられており、ユーザーが様々な組織・機関からデータを収集する手間無く、能登半島地震関連のデータを閲覧できる。
- 多様な組織・機関からデータが提示されるなか、国土数値情報が提供するデータも地域の状況把握にあたって重要なデータの一部であることが分かる。



国土数値情報の半島循環道路、緊急輸送道路データもプロジェクトファイルに含まれる

出所：
令和6年能登半島地震データ表示用QGISプロジェクトファイル,
https://github.com/wata909/R060101_Noto_Peninsula_EQ_QGIS, 2024年3月8日閲覧

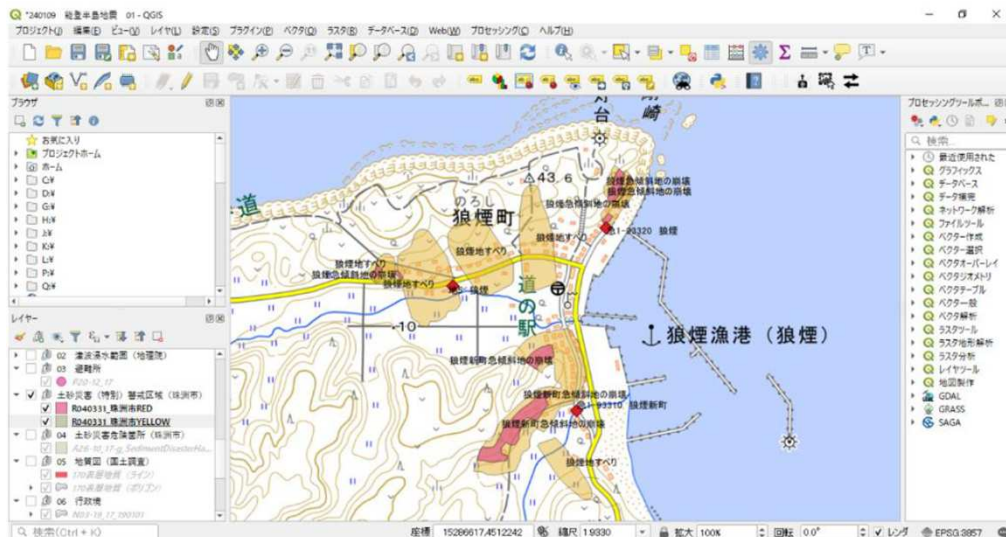
登録データ一覧

公開組織・機関	データ
国土地理院	斜面崩壊・堆積分布データ、空中写真判読による津波浸水域、被災地域空中写真、だいち2号観測データ解析による海岸線変化・地殻変動、地理院タイル
国土交通省	国土数値情報（半島循環道路、緊急輸送道路）、道路復旧状況、道路復旧見える化マップ
総務省	町丁・字等境界データ
法務省	登記所備付地図
農林水産省	筆ポリゴン、農林業センサス農業集落境界データ、農業用ため池一覧
石川県	ドクターヘリ ランデブーポイント一覧
森林総合研究所	森林土壌デジタルマップ・CS立体図
日本地理学会 災害対応委員会	海岸地形変化の検討結果、津波浸水範囲、
全国Q地図	Q地図タイル
Shi-works	簡易100mメッシュ人口データ、Google Buildings footprint
東京大学渡邊英徳研究室	能登半島地震 SARイメージ
Code for Kanazawa	能登半島地震コネクタマップ接続データ
自治体GIS活用推進グループ	能登半島地震孤立地区基本調査区、能登町地区割小地域
OpenStreetMap	OpenStreetMap Highway
pikkarin(一般ユーザー)	石川県七尾市避難所開設情報GISデータ
独自作成データ	半島循環道路/緊急輸送道路(国土数値情報)と斜面崩壊・堆積分布データ(国土地理院)との交差点データ

- 国土交通省緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) の東北地方整備局の活動で、能登半島地震で生じた土砂災害の被害状況調査として、土砂災害 (特別) 警戒区域の点検・調査を実施
- 点検対象となる土砂災害警戒区域の範囲を確認するため国土数値情報「土砂災害警戒区域」を使用
- 調査箇所近傍の二次災害発生の可能性を確認するために国土数値情報「避難所」を使用

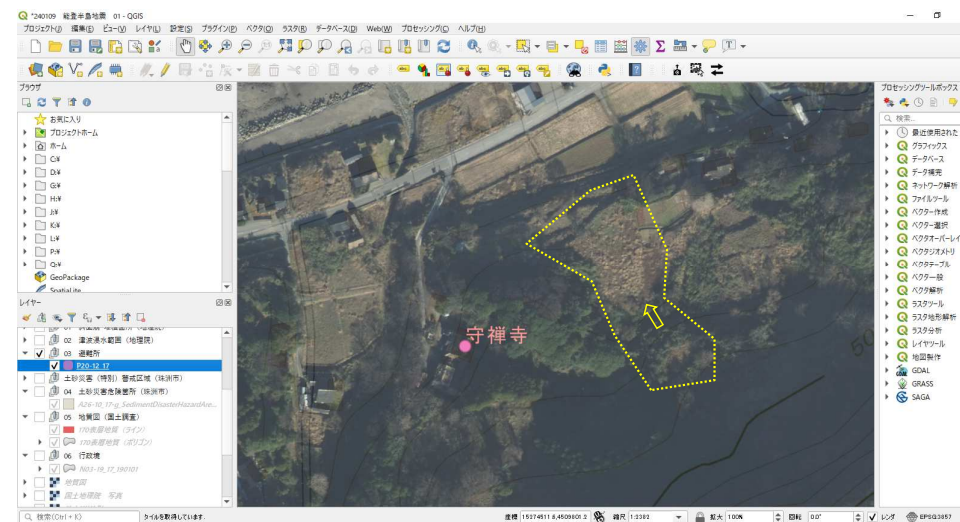
土砂災害警戒区域の活用例

- ・点検対象である土砂災害警戒区域の範囲確認に活用
- ・調査箇所のカルテ平面図の補足情報として活用



避難所の活用例

- ・調査箇所周辺の避難所位置確認に使用
- ・避難所付近の斜面状況を目視確認し、二次災害発生の可能性を確認



- 使用データ：「土砂災害警戒区域 (令和4年度)」 「避難所 (平成24年度)」
- TEC FORCEの災害支援は管轄外での活動のため、土地勘が無く活動箇所周辺の情報も少ないことや、発災時は支援に必要な情報を準備する時間もないため、インターネットからダウンロードできる国土数値情報を有効活用した